



和歌山県・紀の川市

持続可能な地域公共交通とするために、 どなえしたらええんやろ？

～ 2/18(日)、紀の川市の地域公共交通を考える会を開催 ～

本市では、高齢化が進み地域公共交通を必要とする交通弱者が増加する中、きめ細やかな地域公共交通サービスへの期待が高まっています。その一方で、人口減少や地域公共交通の担い手不足の問題など、地域公共交通を取り巻く環境がより一層厳しくなっており、将来にわたって持続可能な地域公共交通の確保・維持について、関係者が一体となって考えていく必要があります。

これらのことにより、地域公共交通に対する理解醸成や地域・事業者・行政が一体となって地域公共交通を支える体制づくりを推進するため、「紀の川市の地域公共交通を考える会」を開催します。

当日は、①紀の川市の地域公共交通の現状や②今年度策定を予定している紀の川市地域公共交通計画の素案の概要説明の後、③地域が主体となって地域公共交通の確保・維持に取り組んでいる先進地事例について、3 地域の事例発表をいただきます。また、④地域・事業者・行政が一堂に会するパネルディスカッションでは、将来にわたって地域公共交通を確保・維持していくためにそれぞれの立場でできることを話し合います。

参加費無料・事前申込み不要です。多くの方々のご来場をお待ちしています。



【紀の川市の地域公共交通を考える会】

- 日 程 : 令和6年2月18日(日) 13:30開場／14:00開演／16:30終了
- 場 所 : 紀の川市役所南別館1階 多目的ルーム(紀の川市西大井338番地)
- 出席者 : 別紙参照

【取材など 本件に関する問い合わせ先】

和歌山県 紀の川市役所 企画部 交通政策課 担当:井辺、南條、榎谷

TEL:0736-79-3921 FAX:0736-77-0917 E-MAIL:k030200-001@city.kinokawa.lg.jp



～持続可能な地域公共交通とするために、 どなえしたらええんやろ？～



I. 紀の川市の地域公共交通の現状について

【交通政策課 副主査 井辺 将文】

II. 新地域公共交通計画について

【紀の川市地域公共交通活性化再生協議会 副会長
近畿大学生物理工学部 講師 山田 崇史氏】

III. 事例発表

①ふれあいバス事業導入の取組みと事業の概要について

【名塩コミュニティバス準備委員会 会長 石田 清造氏】

②「のりあい」から「ふれあい」へ移動支援とまちづくりの南花台モビリティ「クルクル」

【南花台モビリティ「クルクル」代表 前田 鉄弥氏】

③「よさの乗合交通事業」の事業概要と地域の取組み・関わり等について

【桑飼地区支え合い交通運営協議会 会長 西村 良久氏】

【与謝野町企画財政課企画政策係 主査 本田 智宏氏】

IV. パネルディスカッション

テーマ：持続可能な地域公共交通とするために、どなえしたらええんやろ？

コーディネーター：野村 実 氏 大谷大学社会学部講師

パネリスト：佐伯 一也 氏 和歌山バス那賀（株）取締役社長

西脇 正宜 氏 （株）有交紀北代表取締役

宇田 篤弘 氏 紀の川市に乗り合いタクシーを走らせる会代表

畠中 美文 氏 NPO法人フレイルサポート紀の川理事長

岸本 健 氏 紀の川市長

石田 清造 氏 名塩コミュニティバス準備委員会会長

前田 鉄弥 氏 南花台モビリティ「クルクル」代表

西村 良久 氏 桑飼地区支え合い交通運営協議会会長

アドバイザー：小森 成人 氏 近畿運輸局和歌山運輸支局支局長



開催目的

高齢化が進み地域公共交通を必要とする交通弱者が増加する中、きめ細やかな地域公共交通サービスへの期待が高まっています。また、地域公共交通を取り巻く環境がより一層厳しくなる中、移動手段を確保できるよう持続可能なサービス提供を目指さなければなりません。

これらの事により、地域公共交通に対する理解の醸成や行政と交通事業者、市民が一体となって支える体制づくりを推進するため、「紀の川市の地域公共交通を考える会」を開催します。

アクセス

